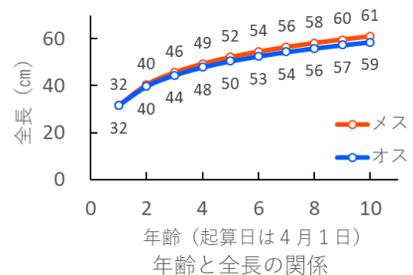


# トラフグ

## 1 生態

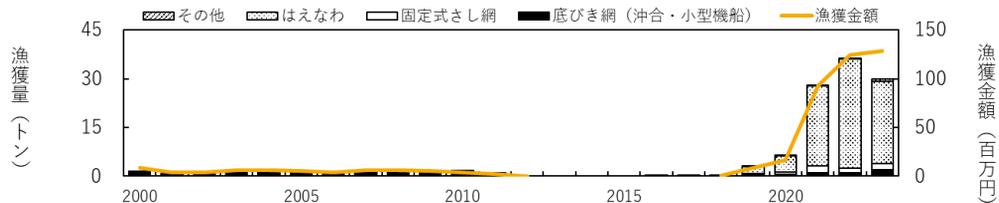
- ・日本海、東シナ海、黄海、瀬戸内海及び太平洋沿岸の広範囲に分布します。
- ・オスは満2歳、メスは満3歳で成熟します。本種の産卵場は全国に散在しており、日本海側では秋田県以南、太平洋側では東京湾以南に確認されています。産卵期は地域により異なりますが、主に3～5月です。
- ・成魚は魚類やエビ類等の甲殻類を食べます。

\*「令和5（2023）年度トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群の資源評価」により右図を作成



## 2 漁業に関する情報

- ・主にはえなわで漁獲され、盛漁期は10～1月です。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は29トン、金額は128百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2016年（平成28年）1月から再開されています。
- ・近年、漁獲量の多い相双地区では、「福とら」と名付けて特産品化を進めています。



漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 \*2013～2017年まで相対取引のため金額データ無

## 3 資源の状態

- ・CPUE（単位努力量あたり漁獲量）等の資源量指標となる情報がないことから資源状態は不明となっております。
- ・漁獲量の推移から、資源は、高位で増加傾向にあると考えられます。

## 4 資源管理の取組み

- ・相双地区はえ縄漁業者の自主的な取り決めとして、全長35cm以上の個体を水揚げ対象とし、漁獲個体数に上限を設定しています。さらに、操業期間を単価の上昇する秋～冬に設定しています。